

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市会議員団発行
週刊ニュース
2008. 4. 16
横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

後期高齢者
医療制度

年寄り差別だ！ 年金天引きなんてとんでもない

日本共産党市議団が制度廃止を求める国への意見書提出を提案

4月1日から、75歳を過ぎたというだけで、これまでの保険から切り離し、差別するという前代未聞のひどい医療制度がはじまりました。

「これでは長寿を喜べない」（「徳島」4日付）

「見切り発車の印象強めた」（「西日本」11日付）など地方紙をはじめ多くの新聞は、新制度を批判する社説を掲載。週刊誌も「『長寿という地獄』絶対許さない！」（「週刊文春」17日号）、「『長寿医療制度』は史上最悪の国家犯罪だ」（「サンデー毎日」20日号）と特集を組み、テレビの報道番組やワイドショーも問題点を詳しく紹介しています。

全国各地の医師会からも制度に反対の声があがっています。「患者の望む医療ではなく、ただ医療費抑制の観点から考え出された制度だ」



保険料も決まらないのに 口座振替の案内なんて、失礼な！

後期高齢者医療制度の保険料の徴収は、多くの自治体では15日から始まりますが、横浜市ではシステムが間に合わないことや周知徹底が遅れているなどの理由で、7月からはじめます。

横浜市は、このほど後期高齢者医療制度の「保険料の口座振替による納付のご案内」として口座振替依頼書を、市内30万人の対象者に送付しました。その後、市や区役所の窓口には制度に対する問い合わせや苦情が殺到しています。送付翌日の8日に後期高齢者医療制度専用ダイヤルにかかった電話は330件、翌9日は431件。区役所にかけられたものを含めれば相当の数になると思われます（区役所への問い合わせ等の数は集計していません）。

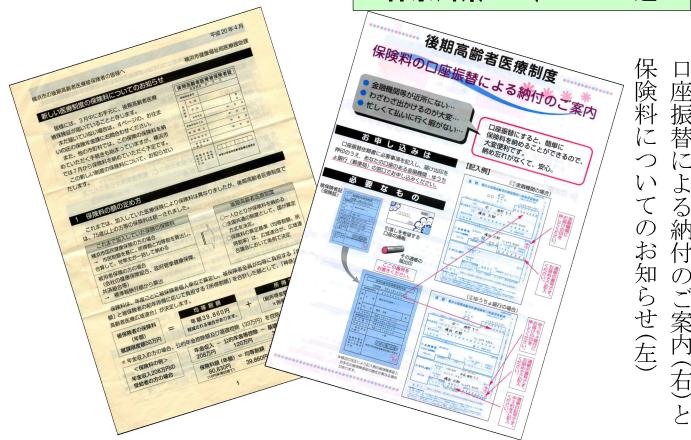
日本共産党横浜市議団にも、「金額が決まっていないのに口座振替の用紙が送られてきた

と秋田県医師会は反対の方針を決め、茨城や広島の県医師会も同様の動きを見せてています。

福田首相は14日午前、この制度について、「説明不足で混乱がある。自分の保険がどうなるか不安(を感じている人)が多いので、本当にまずかったと反省している」と述べ、事前の周知不足や保険証の本人への未着続出で混乱が生じていることを陳謝しました。

日本共産党横浜市議団は、「財源を理由にして真っ先に高齢者の命をおろそかにする、こういうひどい制度では日本の国の未来がなくなってしまう」と、3月議会に後期高齢者医療制度の廃止を求める国への意見書の提出を提案しましたが、自公民の反対多数で否決されました。

届かずに戻ってきた保険証数
横浜市2,300通
神奈川県13,700通



と、年金者組合に加入の人から苦情がきている」、「保険料を取ることばかり市は考えている」などの苦情がよせられています。

制度の説明も徹底せず、保険証が届かないという事態も出ているなか、保険料の支払い方法だけ示すなど、誠意のない失礼なやり方です。